

# 鉄道ピクトリアル

2006年5月号 Vol.56 No.5 通巻No.775

<特集> グリーン車

■表紙 名残りの113系グリーン車……………編集部

東京 2006-3-7

ゼンザプロニカSQ-A ゼンザノンPS80% 絞りf8~11 タイム1/125 RVP-F

■カラ

ようこそ、リラククススペースへ(1~5ページ)

山中 茂・河原慶明・小野啓一・池田嘉晃・湯浅勝浩  
石原裕紀・静 拓志・尾崎 渉・岩井雄二・佐藤利生  
森 友紀・安田孝哉・松本洋一・編集部

思い出のGreen Car(6~7ページ)

……………関根敏男・浜村正弘・川井一彦・岡本文彦  
民鉄の特別車両(8ページ)

……………静 拓志・佐藤利生・沼尾吉晃・岩井雄二  
Pictorial Color Gallery 最後のステージ……………佐野 嘉春… 73  
70年の歴史を閉じる交通博物館に残る旧万世橋駅の遺構

……………取材・構成:編集部… 78

JR東日本189系「彩野」が塗色変更／神戸新交通ポート  
アイランド線延伸開業／速報JR東日本E721系・JR西  
日本キヤ141系／相鉄・鉄道フェア開催／JR西日本富  
山港線が運行を終了／東武100系が新宿駅に初入線／  
東海道旅客線に貨物列車／伊豆急行に新「黒船」編成／  
北総鉄道7500形営業開始ほか

76・77・79・80

■グラフ

多種多様 485系電車のグリーン車……………構成:編集部… 25

国鉄鋼製2等座席客車 並口のバラエティ……………解説:中村光司… 30

70年の歴史を閉じる交通博物館一館内展示と旧万世橋駅部分を見る

……………取材・構成:編集部… 34

JR四国土讃線高知駅周辺連続立体交差事業……………浜田 光男… 40

トピック・フォト(各地・関東・中部・関西)…………… 81

伯備線の臨時列車 2006大社臨ビックアップ……………構成:和田京太… 88

2006年春 相模鉄道の話……………解説:大里信之… 90

スイスの鉄道散歩……………田尻 弘行… 92

シュプール号 ベストセレクション—2005年度版—

……………写真と解説:佐々木晶朗… 94

京王電鉄 最近の動き……………佐藤 恵香… 96

■本文

今月の話題:グリーン車……………編集部… 9

グリーン車学入門—優等座席車の乗客・設備・制度を考える—

……………岩成 政和… 10

JR東日本E231系グリーン車組入れ・編成組替えとグリーン車

「Suica」システムの概要……………東日本旅客鉄道(株)運輸車両部… 22

今は昔のグリーン車紀行 とことん東北1等汽車の旅……………根本 幸男… 41

旧形客車の青帯車あれこれ 並口の戦後史……………中村 光司… 48

海外の「グリーン車」めぐり

アメリカの「1等車」／ドイツの1等車を見る／タイ国鉄の優等車両

概観／チェンマイ発バンコク行き1等車に乗る(58~66ページ)

……………山田 亮・真鍋裕司・今津直久・中川浩一

……………\*

東武鉄道2006年3月ダイヤ改正について……………山田 和孝… 67

鉄道の話……………編集部… 97

2006年4月29日開業予定 富山ライトレールの概要

……………堀川 淳・黒瀬信弘… 98

京浜急行700形の足跡(中編)……………佐藤 良介…106

書評(511)「JTB私鉄時刻表 東日本編・西日本編」……………和久田康雄…113

終焉迫る 北海道はちく高原鉄道の近況……………斎藤 幹雄…114

加悦鉄道2号蒸気機関車(123号機関車)の重要文化財指定に伴うシンポジウム

「地域産業遺産の保存・活用と新展開に向けて」が開催される

……………堤 一郎・篠崎 隆…116

2月のメモ帳…………… 118

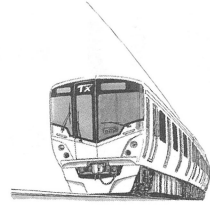
読者短信・情報ファイル…………… 119

後部車から…………… 123

ISSN0040-4047

Tetsudō pikutoriaru

今月の話題



カット:山本茂樹

## グリーン車

旅客車における車両称号のうち「ハ」は普通車両、「ロ」は特別車両と分類され、「ロ」の座席車がグリーン車と称されている。普通車に対してグレードの高いサービス設備を提供することで格差を付けた車両で、編成中1~2両組み込まれるのが普通であり、伊豆急行など一部私鉄を含めて、JR各社が国鉄時代に引き続き運行している。グリーン車は、1969(昭和44)年5月10日、国鉄車両等級廃止の政策に伴い誕生したものである。以降、それまでの2等級制を改め、旧2等車を普通車、旧1等車をグリーン車、そして寝台車は旧1等寝台がA寝台、旧2等寝台がB寝台車へと変更されたわけだが、営業制度と称号が変わったものの車両設備等の基本的なスタイルは従来そのままであり、それは今日においても基本的に受け継がれていると思われる。

車両等級制の歴史を振り返るとわが国鉄道発祥まで遡ることとなる。簡単にその変遷を追ってみると、

1872(明治5).6.12 品川—横浜間仮開業。上等・中等・下等の3等級制。

1897(明治30).11 上中下等を1・2・3等に変更。等級別色帯を客車に設ける。

1957(昭和32).6 国電の2等車全廃(残存していた中央・京浜東北線の2等車を6.20から廃止)。

1960(昭和35).7.1 それまでの1・2・3等を1・2等の2段階に切替え。2等車の「ロ」を1等、3等車の「ハ」を2等とし「イ」は廃止。

となり、この後グリーン車誕生の1969(昭和44)年を迎えるのである。こうした歴史的記録から見ても、また、車両、営業政策、旅客サービスの上からも、グリーン車は寝台車や食堂車と同じく、鉄道の大きな文化を形成していることがわかり、奥深い興味を有しているといえよう。

TETSUDŌTOSHO KANKŌKAI  
Oak Ochanomizu Bldg., Kanda Ogawamachi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan